

学校法人 明の星学園

青森明の星短期大学附属幼稚園

1. 本園の教育目標

◎明の星学園 幼稚園モットー “豊かなこころ”

◎教育目的

本園は、カトリック精神を具現化した学園訓-正・浄・和-に基づき、世界の平和と人類の福祉を心に刻む人間を育成するため、幼児に適切な教育環境を与え、安定した情緒のもとで、心身の調和のとれた発達を助長することを目的とする。

◎明の星幼稚園の目指すもの

- ・神様や他の人から愛されていることを体験を通して知り、祈ることのできる子どもたち。
- ・主体的に生き生きと生命を輝かせ、善悪の判断のできる子どもたち。
- ・人と人との関わりの中で、あいさつ、お礼、おわび等基本的なことができる子どもたち。
- ・美しいものや不思議なものに感動する、豊かな感性と好奇心の旺盛な子どもたち。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

家庭にも地域にも信頼され、自信をもって勧められる園づくりを目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	人とのつながりの中で、たくさんの体験ができるようにし、心を育めるようにする	B	【短大、中学・高校との連携】 ・短大にお願いし、昔遊びの授業に参加。学生と触れ合う機会をつくっていただいた。 ・ハロウィンの行事で、学生来訪。 ・中学・高校の運動会に参加。また、SDG sの授業で集めたぬいぐるみを届けていただいたり、琴の演奏会を行っていただいた。 ・一緒に楽しんだり、触れ合うことでつながりを深め、子どもたちの社会性を育むことができたのではないと思う 【小学校との関わり】 ・音楽集会の鑑賞に行き、学校の雰囲気や活動に触れる貴重な機会となった ・子どもたちの学校に対する期待や興味が深まり、大切な経験になったのではないと思う
2	安全管理体制の持続と強化に努めるようにする	A	【園内研修の実施】 ・園内研修を通じて、園内の危険箇所について話し合い、安全対策を実施 【安全対策】 ・子どもたちがぶつかりやすい場所にクッションカバーを取り付けた ・クラスの壁に掛けてある額、食器戸棚のガラス、フック付きのお手拭き掛けを撤去。また、教卓を片付け、部屋を広く使えるようにした。 ・地震対策として、ピアノに耐震のインシュレーターを設置。転倒防止や横滑り対策を行った。 ・毎月、様々な想定での対応訓練、避難訓練を実施。 ・職員全体で災害に備える意識を高めた。

3	園に関する様々な情報の発信に努める	B	園の情報発信に力を入れ、WEBサイトを刷新し、Instagramを開始。 【Instagram】 ・子どもたちの楽しんでいる表情を伝えたいという思いで投稿を行っていたが、フォロワーが増えるにつれ、保護者から顔が大きく写ることに不安を感じるとうのご意見を受け、速やかに対応。 ・早期に保護者からご意見をいただき、より良い方法を模索できた ・個人情報の配慮を重視した結果、更新頻度は少なくなった (職員が撮影に気をとられる。自然な写真が撮れなくなる) ・個人情報の取り扱いとのバランスについては、引き続き慎重に行っていく 【地域への情報発信】 ・浪打銀座の秋まつりに参加し、イベントを通じて地域の方々に園を知っていただく機会とした。 ・まつり関係者や参加者からは好評を得たが、それが園児募集に繋がったかどうかは不明。しかし、地域とのつながりを大事にすることは、非常に重要だと考える ・はぐくみプラザやつどいの広場「さんぽぽ」「アピオ青森プレイルーム」にチラシを設置。一定の効果を得ることができた。 ・保護者への情報発信が十分ではなかった
---	-------------------	---	---

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4.総合的な評価結果及び課題

理由
【総合的な評価結果】 今年度は、園の安全管理体制の強化、人や地域とのつながりの促進、そして園に関する情報発信に力をいれた。 まず、安全管理においては、園内研修を通じて危険箇所の見直しと、子どもたちの安全を守るための具体的な対策を講じた。災害時対応訓練も毎月実施し、職員全体が災害への備えを高める意識を持つように努めた。 人や地域との関りでは、在園児が少人数のため、人との関わりの面で足りない部分を、地域の方との関わりの中で、伸ばしたいという思いがあった。短大生や中学・高校生、小学生との触れ合いのなかで、同年代の子との関りでは得られない感情面での学びがあったのではないかなと思う。 また、地域のイベントへの参加やチラシの設置を通じて、園の認知度向上に努めた。 情報発信に関しては、WEBサイトの刷新とInstagramの開始により、園の活動を広く発信した。保護者からの意見を迅速に反映させることで、より配慮ある運営を心掛けた。 全体として、園の安全性、地域との関わり、そして情報発信において意識的に取り組み、良い成果が得られたのではないかなと思う。

【課題】

一方で、以下の点について、今後の改善が求められる。

1. 在園保護者への情報発信

園外への情報発信は一定の成果があったが、在園保護者への情報発信が十分でなかった点が反省点として挙げられる。また、保護者アンケートで寄せられた声を受け、子どもたちの日常的な様子をもっと積極的に共有する必要性を感じている。また、参観日や個人面談の機会を増やしてほしいという要望もあり、保護者との直接的なコミュニケーションの場を増やし、より多くの情報を提供する方法を模索することが今後の課題と考える。

2. インスタグラムの更新頻度とバランス

Instagramにおける更新頻度が、配慮の結果として少なくなり、また、職員が撮影に気を使ったり、自然な写真を撮ることが難しい場面もあった。個人情報の取り扱いとのバランスを慎重に考えつつ、より適切な運営方法を見つける必要があると考える。

3. 玄関扉の施錠の徹底

玄関扉の施錠については、閉め忘れが発生することがあり、今後は施錠の徹底を強化することが求められる。職員全員で再度注意喚起を行い、万全の体制を整える必要がある。

これらの課題に対応しながら、より良い環境づくりを進めていきたいと考える。今後も継続的な改善を目指し、園の運営に努めていきたい。

今年度は以上の通り、自己評価します。